

とどろき

田 検 小 学 校 だ よ り
令 和 4 年 6 月 22 日 (水)
宇 検 村 立 田 検 小 学 校

校内人権週間に際して

学校長 平山 晋

本校では、「友達とのかかわりや家族のこと等、困っていることやつらいことを話すことができるようになる学級づくりを一年間の目標として、自分の思いを伝えたり、友達の思いを知ったりする機会を設定する。」ことをねらいとして、5月30日から6月4日まで「校内人権週間」を行いました。

この週間中に、学級では道徳科や学級活動の授業で、学級や友達の様子を振り返り、どんな学級づくりをしていったらよいのかを考えさせたり、「学校楽しいーと」や「もやもや書き」などの悩みやいじめのアンケート調査を行ったりしました。さらに、アンケート調査を基に、担任による教育相談(6月14～17日)も行いました。

そして、私は、この人権週間の活動の一環として、全校朝会で、「友達の呼び方」について講話をしました。

初めに、『名前は、お父さんやお母さん、あるいはおじいさん、おばあさん方が、一生懸命考えて、健やかに育つようにとお願いを込めて、生まれたばかりの皆さんに、最初にプレゼントしてくださったものです。だから自分の名前はもちろん、友達の名前も大事にしてほしいです。』と話しました。

次に、友達をあだ名で呼ぶことについて話をしました。『「あだ名は、仲の良い子に親しみを込めて言っている。」という人がいますが、それは、あだ名で呼ぶ側の人の考えであって、あだ名で呼ばれる側の人はどう受け止めているかを考えなければなりません。あだ名で呼ばれることをいやだと思っても、友達との関係が悪くなることを気にして、「いやだ。」と言えず我慢している人もいます。相手の気持ちを考えずに、あだ名で呼ぶことは親しみや仲良しと言えるでしょうか。現に、私は子どものころ呼ばれたあだ名が、とてもいやでした。』といった内容でした。

さらに、呼び捨てについても話をしました。『呼び捨ては、あだ名と同様に、「親しみを込めて」という考えがありますが、呼ばれている人はどう思っているかを考えなければなりません。また、呼び捨ての後に続く言葉は、「〇〇しろ。」とか「〇〇だろう。」などのように、荒っぽくなりやすいです。

一方、「さん」付けて呼べば、「〇〇してね。」とか「〇〇でしょう。」のように、優しい言葉遣いになりやすいです。さて、どちらが、相手は気持ちよく聞けて、良い関係づくりに繋がるでしょうか。』といった内容でした。

私の講話の趣旨は、「相手はどう受け止め、どう思っているか。」という相手の気持ちを考えられる人になってほしいということです。私たち大人は、あだ名や呼び捨ては「親しみ」を込めて使っていることがあるということを理解し、呼ばれたくない呼び方については、「いやだ。」と言うことができると思います。

しかし、それは、友達との関係づくりを学んでいる最中の子どもたちにとっては、難しいことです。

だからこそ、学校では、相手の気持ちを考えて行動するということを身に付けさせることが大切だと考えています。御家庭でも、「友達の呼び方」について、話題にさせていただけるとありがたいです。

ようやくできました **カッター訓練** 5月25日 27日



本校の伝統「カッター訓練」天候不良のため、予定通りに実施できなかったのですが、天候が回復した5月25日(水)と5月27日(金)に実施できました。子どもたちは事前の打ち合わせで決めたかけ声に合わせて、元気な掛け声に合わせてオールを漕いでいました。海から眺める景色の素晴らしさに子どもたちも大喜びでした。

1月の行事予定

毎週金曜を定時退庁日に設定します。御理解をお願いします。

- 1日(金) 心の教育の日 第1回心の教室⑤ 安全点検
家庭教育学級3
- 4日(月) 企画委員会 衛生推進委員会
- 5日(火) セタ集会 水泳学習5 委員会活動⑥
第2回校外生徒指導連絡協議会
- 6日(水) C校時 学級PTA 第1回学校保健委員会
- 7日(木) C校時 第1回学校評議員会 村図画作品審査会
硬筆教室(17時~18時 図書室) ALT 来校
- 8日(金) C校時 志布志市福田教育長(本校第35代校長)来校
- 9日(土) B校時 土曜授業日 校内水泳大会
- 10日(日) 第75回県民体育大会大島地区大会(~17日)
- 11日(月) 職員会議 生徒指導委員会
- 12日(火) C校時 着衣水泳
佐藤美代子さん(バイオリニスト)の演奏会⑤
- 13日(水) 読書タイム 鹿児島ジュニア検定(5・6年)
- 14日(木) C校時 教科・領域部会 硬筆教室(17時~図書室)
- 15日(金) C校時
- 17日(日) **ウヤフジ(御先祖)感謝の日**
- 20日(水) 1学期終業式 相互点検 職員会議
- 21日(木) 夏休み期間(~8月31日)
水難事故防止運動強調週間(~8月31日)
- 22日(金) 村作文教室(元気の出る館)
- 25日(月) パワーアップ研修(~29日)
- 26日(火) やけうち子体験チャレンジスクール③
- 27日(水) 三町村合同教頭・教務主任研修会(大和村)
- 28日(木) 村学校事務支援室 大島地区読書指導者等研修会
コアティーチャーネットワークプロジェクトII(~29日)
- 30日(土) 親子茶道教室③

保護者の方へ

学校を出た後は、まっすぐ帰宅するか、児童クラブや祖父母宅などの決められた場所に寄り道せずに帰るよう指導しています。しかしながら、守っていない児童がいるようです。改めて各家庭でも①決められた場所に帰宅する。②寄り道はしない。③友達の家に遊びに行く時には必ず一旦帰宅し、おうちの人に行き先と帰宅時刻を知らせてから出かけるなど 親子で再度確認をお願いします。

6月の学校行事から
メヒルギの種まき 6月2日(木)



村役場の企画観光課の方が来校し、3年生以上の児童がメヒルギの種まきを行いました。伊藤忠商事から提供していただいたペットボトルを再生して作られた植木鉢に、棒状の種を丁寧に植えていきました。10月頃に大きくなった苗をマングローブ林の再生のために植えるということです。豊かなマングローブ林に育つといいですね。

よい歯教室 令和4年6月3日(金)中学年 6月7日(火)1年生 6月10日(金)2年生 6月20日(月)5・6年



本校の立石養護教諭と担任の先生とのT.T (ティーム・ティーチング)により全学年「よい歯教室」が実施されました。高学年の授業には学校歯科医の名越先生にも来ていただきました。授業の中では歯を守るための正しい歯磨きの仕方、むし歯になりやすい食べ物となりにくい食べ物、高学年では歯が生え変わる理由やその仕組みについて学習しました。学習したことを生かして、むし歯を予防し、一生健康な歯で過ごすことができるといいですね。



第1回 村小学校合同集団宿泊学習 6月8日(水)～9日(木) 県立奄美少年自然の家



村内の全小学校の5・6年生の計26名の児童が参加して1泊2日の日程で行われました。初日の活動は大島紬を使った紬クラフト、そして班ごとに協力して野外炊飯、キャンプファイヤーでした。2日目は自然の家周辺のコースでのオリエンテーリングでした。学校は違ってもしっかり協力して活動に取り組む姿が見られました。

授業参観・愛校作業 令和4年6月11日(土)



悪天候にも関わらず多数ご参観いただきました。愛校作業では保護者の皆さんにご協力をいただき、隅々まできれいにさせていただきました。ありがとうございました。

第1回 村小学校集合学習 6月16日(木)



水泳学習開始 6月14日(火)



天候も心配されましたが、14日から村総合運動公園プールで学習開始です。体調管理をしっかりとって参加してほしいと思います。



村内の全小学生が一同に集まって授業を行いました。小規模校で学ぶ子どもたちにとって大人数での学習の経験は子ども同士、多くの考えにふれることのできる大変貴重な機会となりました。次回は10月の予定です。